

第 15 回日中韓鉄道共同研究セミナーを開催しました

平成 27 年 11 月 26 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）と中国鉄道科学研究院（以下、CARS）および韓国鉄道研究院（以下、KRRI）は、2015 年 11 月 17～19 日の 3 日間に渡り、中国・北京で「第 15 回日中韓鉄道共同研究セミナー」を開催しましたので、お知らせします。

鉄道総研と CARS および KRRI は、2000 年に共同研究に関する協定を結んで以来、鉄道の各技術分野における共同研究を実施しています。今回で 15 回となった年 1 回のセミナーは、中国・北京において開催され、鉄道総研から 13 名、KRRI から 14 名、CARS から 18 名の総勢 45 名が参加しました。

本セミナーでは、代表者会議、基調講演、終了テーマの成果報告および継続・新規テーマに関する意見交換が行われました。

代表者会議では、鉄道総研の高井専務理事、CARS の施常務副院長と叶副院長、KRRI の Yang（ヤン）副院長が出席し、各機関の運営体制、研究開発の方向性、高速化の目標と課題、試験時の安全性確保、地震・風雨などに防災・減災方法等について意見交換がされました。また、アジアにおいて高速鉄道を運営する 3 カ国の鉄道研究機関が協調して研究開発を進めることの重要性が確認されました。

基調講演では、3 機関からそれぞれ最近の研究開発成果の概況と、主要な試験設備の紹介が行われました。

また、終了テーマ 6 件（バラスト軌道の寿命予測、電力安全性と信頼性の評価、レール溶接の損傷分析、分岐器転換器の仕様の調査、架線のモニタリング技術）の研究成果が報告されました。さらに、鉄道総研が参加する新規テーマ 4 件（架線の監視技術、車輪／レールの粘着問題、トンネルの劣化評価、高速鉄道用レールの調査）について、CARS および KRRI の担当者と内容および今後の進め方について確認しました。最後に、3 機関の代表者が議事録に署名をしてセミナーを終了しました。

11 月 19 日には、テクニカルビジットとして延長 38km の環状試験線のある CARS 東郊分院を訪れ、最近設置された 6 試験設備（走行試験監視システム、車輪／レール接触試験装置、パンダグラフ試験装置、ブレーキ試験装置、交流電車駆動試験装置、試験列車準備・調整設備）を視察しました。これらは高速列車を対象として、最高速度 500km/h 超の試験が可能となっています。



写真 開会式で挨拶する高井専務理事



写真 代表者によるセミナー議事録の署名式
(前列右から、高井専務理事、CARS 叶副院长、KRRI Yang (ヤン) 副院长)